

知的や難病も対象、障害者採用の門戸広げる

兵庫・明石市

兵庫県明石市（泉房穂市長）は2016年4月の障害者職員向け採用試験について、身体障害者に加え知的・精神障害者や発達障害者、難病患者らも対象にすることを決め、現在、広く募集中だ。試験は手話や点字などで対応し、勤務時にも必要な支援をする。自治体の障害者採用をめぐる「自力で通勤できること」などの条件が事実上の制限になっていることも多く、それらを取り払って門戸を広げたことは全国でも珍しいという。障害者枠の定員は2人程度。フルタイムの正規職員か、週に30～31時間で最長5年の任期付き短時間勤務職員で、本人の希望や適性に応じて事務職か技能労務職に就く。

希望者には、採用試験申し込み書のほかに、試験時にどんな配慮が必要かを問う調査票も提出してもらう。例えば、視覚障害があるため筆記試験は点字で受験する、上肢に障害があるためマークシートで

はなく数字をマルで囲む用紙を使う、知的・精神・発達・難病による障害があるため面接試験には就労支援機関の職員などが同席するといった希望が簡単なチェック方式で記入できるようになっている。また、採用された場合に配慮が必要なことも自由に記入できる欄がある。

試験日は来年の1月16日または17日。募集は12月10日まで。詳細は市のホームページ(<http://www.city.akashi.lg.jp/>)でみられる。

明石市は、2014年4月から身体障害者対象の試験を始め、現在までに5人を採用している。自治体が率先して障害者の自立と社会参加を促そうという姿勢で、2015年4月には手話言語・障害者コミュニケーション条例を施行。障害者差別解消条例の制定にも取り組んでいる。

（福祉新聞・第2739号 2015年11月16日）

お知らせ

2016年ボバースアプローチ脳性麻痺8週間講習会

目的：本講習会は、脳性麻痺児の神経発達学的アプローチを習得し、併せて関連分野の基礎知識を学ぶことを目的とする。

期間：2016年7月4日（月）～8月26日（金）
*月曜日～金曜日9:00～17:00、土曜日9:00～12:30（17:00）予定、日曜は休み（7月18日・8月11日は講義を予定しています）

会場：心身障害児総合医療療育センター内療育研修所（東京都板橋区小茂根1-1-10）
*一部は順天堂大学附属順天堂医院、東京小児療育病院にて実施予定

内容：ロンドンボバースセンターの講義内容に準ずる講義・デモンストレーション・実技・治療実習など
担当講師：紀伊克昌、金子断行、新保松雄、鈴木恒彦、鈴木真知子、松村伸次、中野尚子、野口和則、北原エリ子、丸森睦美、ほか

経費：1) 受講費 324,000円（消費税 24,000円を含む）、2) 宿泊費（個室）1泊 3,780円（消費税 280円を含む）

受講資格：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士および医師で、職場経験3年以上

定員：24名（言語聴覚士、医師はそれぞれ2名以内）
申し込み方法：申し込み書に必要事項を記入し、2016年6月3日までにFaxまたは郵送で送付（定員に満たない場合は、締め切り後も受け付け）。

宿泊：療育研修所内の宿泊室（個室17室）を利用可能。*希望者が少ない場合は、お受けできない場合があります。

食事：職員食堂、給食の対応はありませんので各自で用意してください。
*昼食は弁当（400円）の注文が可能。

その他：1) 期間中を通して受講できること、2) 講習会初日7月7日（月）の受付は8:20～8:50まで。なお、宿泊される方で前日（7月6日）に来所の場合16:00～17:00までに到着のこと。17:00より宿泊関係の説明をします。3) ご不明な点は、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先：心身障害児総合医療療育センター療育研修所（担当：須貝）
Tel: 03-5965-1136（直通）、03-3974-2146（代表）
Fax: 03-3959-7648（直通）